

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第8週 (ARIのみ第7週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (8週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 7 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症：レジオネラ症 1 例。5 類感染症：水痘 (入院例) 1 例、百日咳 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	肺結核	その他
			70歳代	男	肺結核	咳、痰
			90歳代	男	左結核性胸膜炎	発熱
		都城	60歳代	女	尿路結核	その他
			70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			延岡	40歳代	男	肺結核
70歳代	男	肺結核及び結核性胸膜炎		咳、呼吸困難、その他		
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O157(VT2)
4類	レジオネラ症	延岡	70歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎、その他
5類	水痘 (入院例)	宮崎市	10歳代	女	検査診断例	発熱、発疹
			10歳代	女	—	持続する咳、肺炎
	百日咳	宮崎市	10歳代	女	—	持続する咳
			20歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐
	中央	10歳代	女	—	持続する咳	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,548 人 (定点当たり 65.5) で、前週比 92% と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患は、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱であった。
また、第 7 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 2,494 人 (定点当たり 89.1) で、前週比 90% と減少した。

【インフルエンザ】

報告数 1,213 人 (43.3) で、前週比 84% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (24.9) の約 1.7 倍であった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

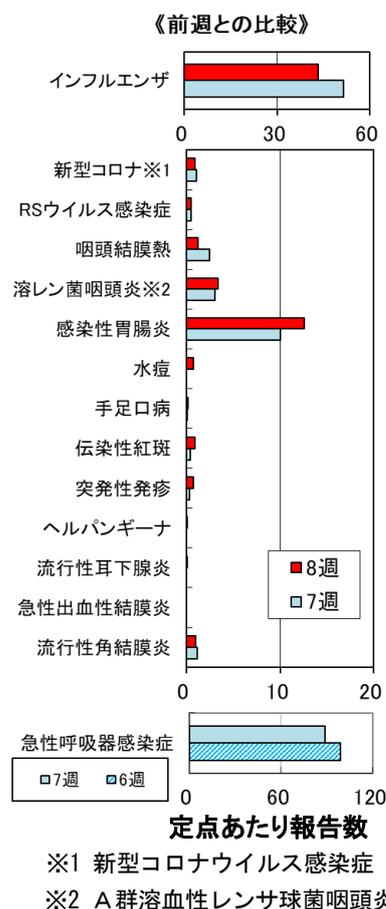
【感染性胃腸炎】

報告数は 188 人 (12.5) で、前週比 125% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (9.8) の約 1.3 倍であった。年齢群別は 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

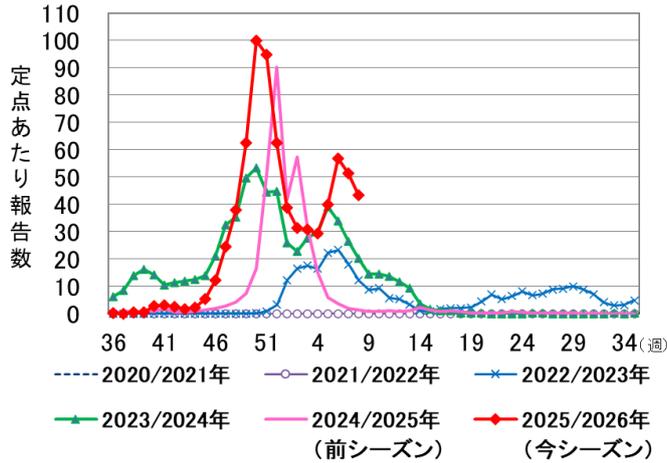
【咽頭結膜熱】

報告数は 18 人 (1.2) で、前週比 49% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.62) の約 1.9 倍であった。年齢群別は 6 歳から 9 歳が全体の半数を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015—2019) の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

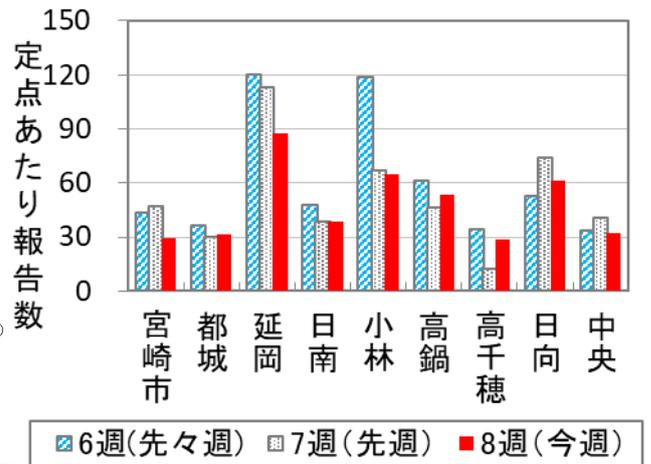


インフルエンザ 発生状況

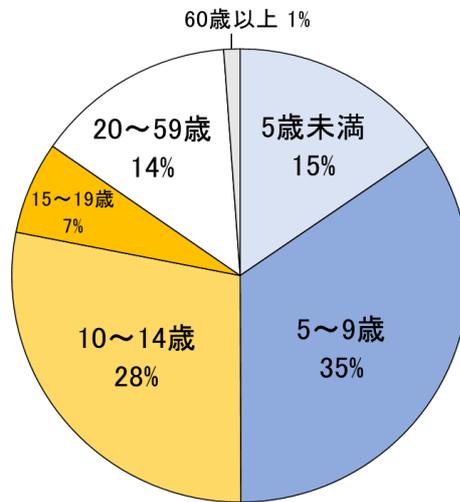


※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更

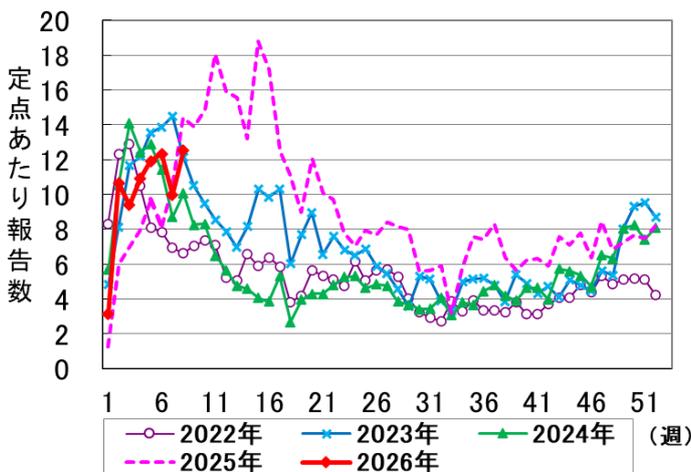
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ年齢群別グラフ(第8週)

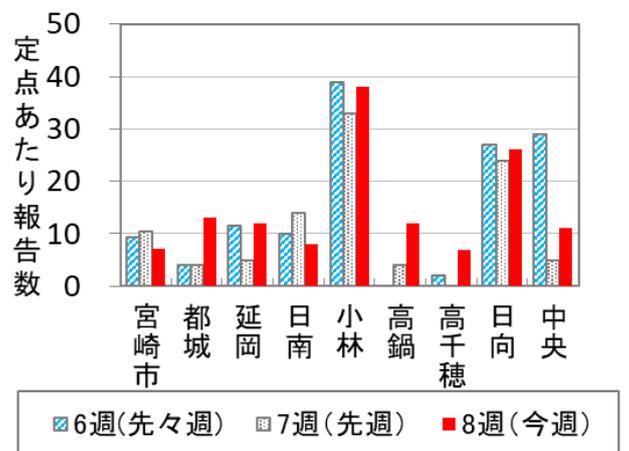


感染性胃腸炎 発生状況

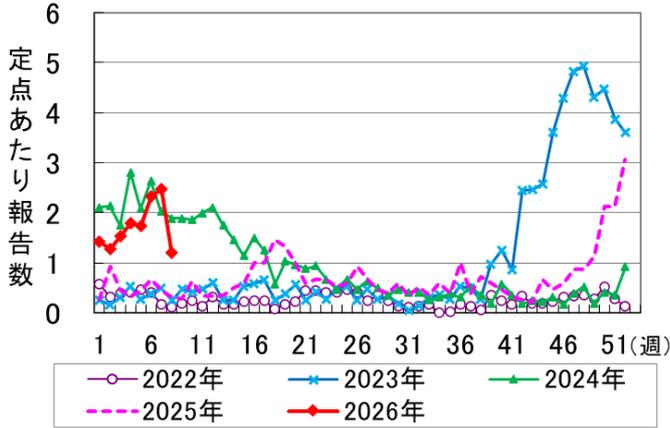


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

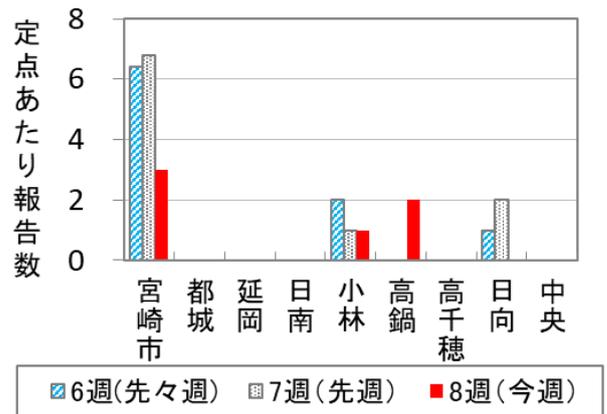
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



咽頭結膜熱 発生状況



咽頭結膜熱 保健所別推移(3週分)



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

★基幹定点からの報告★

報告なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(29.7)、咽頭結膜熱(3.0)
都城	インフルエンザ(31.3)
延岡	インフルエンザ(87.7)
日南	インフルエンザ(38.5)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
小林	インフルエンザ(65.0)、感染性胃腸炎(38.0)、 水痘(6.0)
高鍋	インフルエンザ(53.5)
高千穂	インフルエンザ(28.5)
日向	インフルエンザ(61.5)、感染性胃腸炎(26.0)、 伝染性紅斑(3.0)
中央	インフルエンザ(32.0)、伝染性紅斑(4.0)

※流行警報レベル開始基準値*

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値*

- ・インフルエンザ(10)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2026年第7週:2月9日~2月15日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1 pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	3
		山形系統	0
新型コロナウイルス		1	
RSウイルス	A型	1	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	0	
	3型	0	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		1	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
インフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)・ 新型コロナウイルス		1	
検出せず※2		8	
受付検体数		15	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※¹サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症(ARI): 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

🇯🇵 全国 2026 年第 7 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	213 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	30 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	2 例	エキノкокクス症	1 例
	エムボックス	3 例	オウム病	1 例	つつが虫病	1 例
	レジオネラ症	28 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	18 例
	急性脳炎	12 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	29 例
	後天性免疫不全症候群	12 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	12 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	65 例	水痘(入院例)	8 例	梅毒	142 例
	播種性クリプトкокクス症	3 例	破傷風	2 例	百日咳	132 例
	麻しん	7 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 93%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、特になく、減少した主な疾患は、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 91%と減少した。

インフルエンザの報告数は 157,713 人(41.4)で前週比 96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(24.5)の約 1.7 倍であった。大分県(64.4)、埼玉県(62.6)、鹿児島県(62.1)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 18,419 人(8.0)で前週比 84%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.8)の約 1.4 倍であった。大分県(14.8)、群馬県(13.8)、岐阜県(12.7)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 605 人(0.26)で前週比 84%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.31)の約 0.8 倍であった。宮崎県(2.5)、鹿児島県(1.0)、島根県(0.82)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第08週(02月16日～02月22日)

疾病名		第07週	第08週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1441	1213	267	125	263	77	130	107	57	123	64
	定点当り	51.46	43.32	29.67	31.25	87.67	38.50	65.00	53.50	28.50	61.50	32.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	30	25	3	4	8		2		7	1	
	定点当り	1.07	0.89	0.33	1.00	2.67	0.00	1.00	0.00	3.50	0.50	0.00
RSウイルス感染症	報告数	7	7		2	4			1			
	定点当り	0.47	0.47	0.00	1.00	2.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	37	18	15				1	2			
	定点当り	2.47	1.20	3.00	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	46	51	19	14	1	8	2	2	2	1	2
	定点当り	3.07	3.40	3.80	7.00	0.50	8.00	2.00	2.00	2.00	1.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	150	188	36	26	24	8	38	12	7	26	11
	定点当り	10.00	12.53	7.20	13.00	12.00	8.00	38.00	12.00	7.00	26.00	11.00
水痘	報告数		11	4		1		6				
	定点当り	0.00	0.73	0.80	0.00	0.50	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	1	2	1								1
	定点当り	0.07	0.13	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	6	14	4		1	1	1			3	4
	定点当り	0.40	0.93	0.80	0.00	0.50	1.00	1.00	0.00	0.00	3.00	4.00
突発性発しん	報告数	5	11	3	1	3	1			1		2
	定点当り	0.33	0.73	0.60	0.50	1.50	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	2.00
ヘルパンギーナ	報告数		1					1				
	定点当り	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.07	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
流行性角結膜炎	報告数	7	6	3		3						
	定点当り	1.17	1.00	1.00	0.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2										
	定点当り	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第07週(02月09日～02月15日)

		第06週	第07週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	2772	2494	695	210	484	126	240	177	84	262	216
	定点当り	99.00	89.07	77.22	52.50	161.33	63.00	120.00	88.50	42.00	131.00	108.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～08週 保健所受理分)

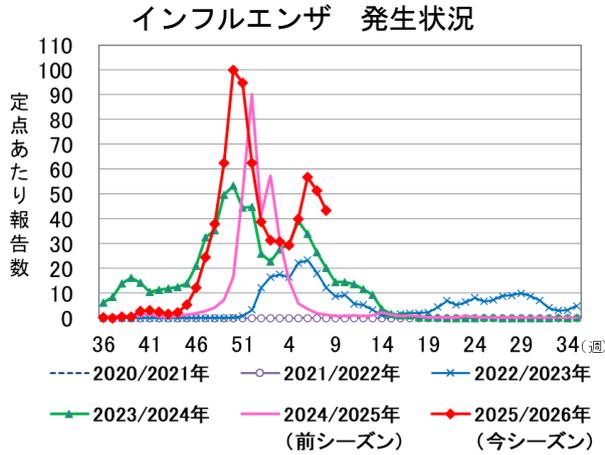
2類感染症	結核	21例(7)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例(1)										
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	2例	レジオネラ症	1例(1)						
	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例						
5類感染症	水痘(入院例)	2例(1)	梅毒	9例	破傷風	1例						
	百日咳	18例(4)										

()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第8週、全国第7週（再掲）》

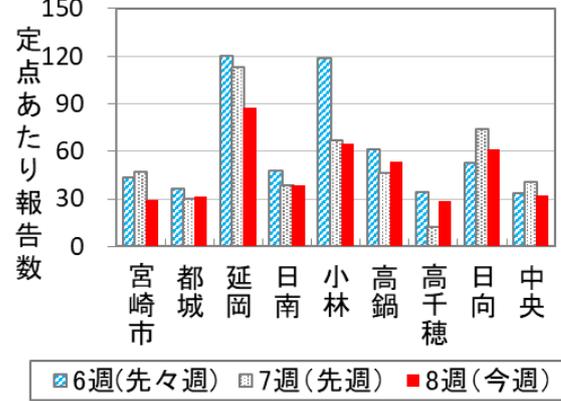
□ 県内第8週インフルエンザ発生動向

2月16日～2月22日までの1週間では1,213人(43.3)の報告があった。前週比84%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(24.9)の約1.7倍であった。

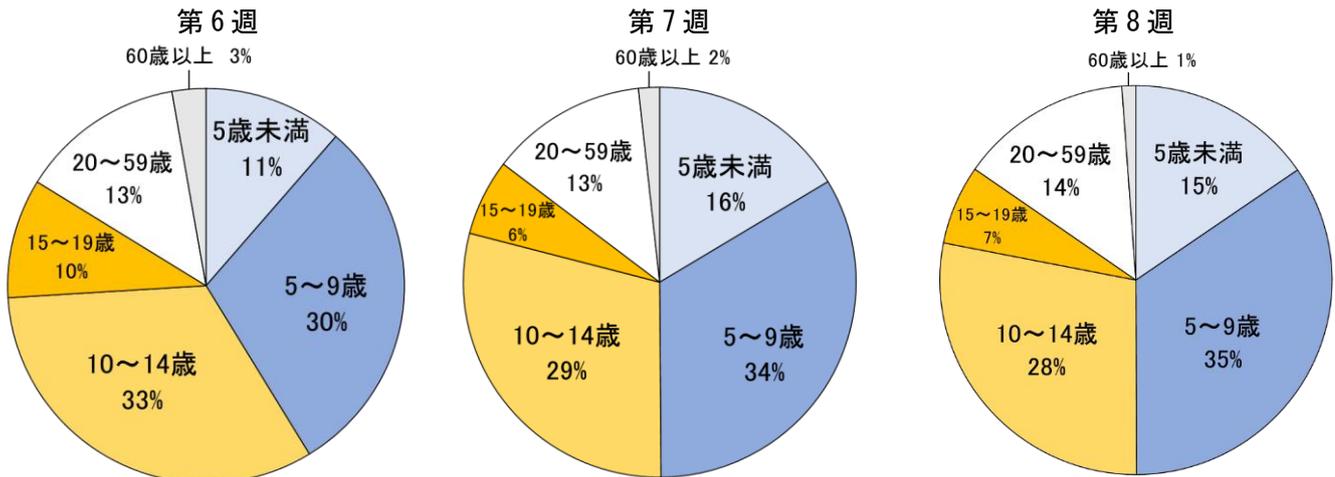


* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

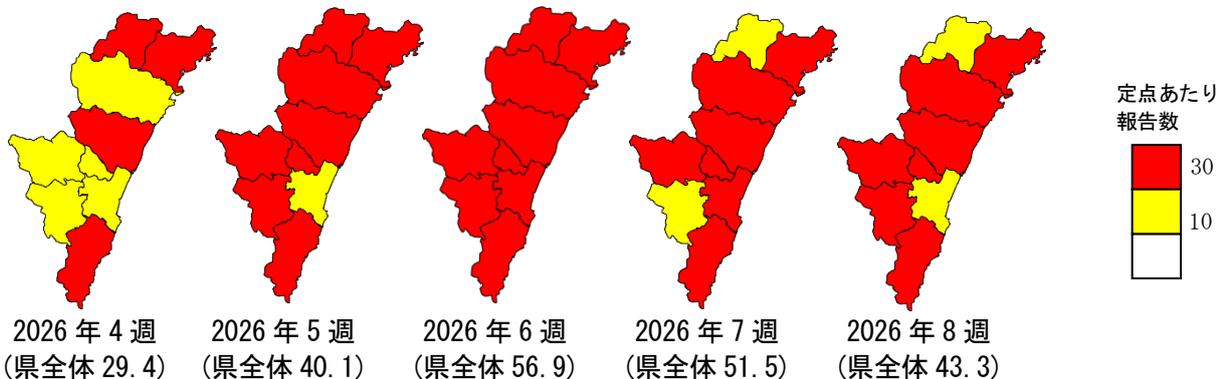
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ 年齢群別グラフ



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2026年第4週～2026年第8週



□ 全国第7週インフルエンザ発生動向

2月9日～2月15日までの1週間で157,713人(41.4)の報告があった。前週比96%とほぼ横ばいであった。大分県(64.4)、埼玉県(62.6)、鹿児島県(62.1)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の13%、5-9歳が36%、10-14歳が28%、15-19歳が8%、20-59歳が14%、60歳以上が1%であった。